2022年度　大宮小学校　行動計画・学校自己評価・学校関係者評価

学校教育目標 目指す子ども像 目指す学校像 研究主題	『自ら学び。心豊かで、しなやかに生きる子どもの育成』 ①自ら課題を見つけ、とことん考える子「もっと知りたい」　②自分の考えや気持ちを表現し、伝え学び合える子「伝えたい」 ③お互いの違いや良さを認め合い、自他を大切にできる子　④しなやかな強さを持ち、なんにでも前向きに挑戦しようとする子 (1)『凡事一流』(2)『明日も来たいと思う学校』 『もっと知りたい伝えたい　～自分の考えや気持ちを筋道立てて表現できる子どもの育成～』	◎学校関係者評価委員(学校運営協議会委員) 柏木昭久、水口道成、西　常雄、奥村一夫、出口眞市、奥山富子、生駒貞子、西　季保

A－達成　B－ある程度達成　C－未達成　○:成果　▲:課題　◆:来年度に向けて

重点目標	行動計画	到達度のわかる目標	学校自己評価 評価	学校自己評価 成果と課題・改善策や今後の方向性	学校関係者評価 評価	学校関係者評価 意見等
【確かな学力の育成】 ～学びに向かう力、生きてはたらく知識・技能、課題に対応できる思考力・判断力・表現力～	**(1)学力向上の推進** ①基礎学力の定着と活用 ②学んだり考えたりする事が好きな児童 ③論理的な思考と表現 ④外国語・情報教育(ﾀﾌﾞﾚｯﾄ活用)の推進	単元テストで学習内容の80%以上の定着。 ※学調や実力テストなどの結果も分析する。	【例】 A	【例】 ○研究発表に向け積極的かつ計画的に研修活動を積み上げ研究会を成功させることができた。教職員や参加者ｱﾝｹｰﾄでも90%以上の肯定的評価を得た。 ▲「考えることが好き」と答える児童は83%あったが、「自分の考えが言える」児童は65%であった。研究テーマの「もっと知りたい」の部分は成果があったが、「伝えたい」の部分については次年度への課題である。 ◆……	【例】 A	
		「考えることが好き」と答える児童80%以上。	A			
		「論理的に考え表現できる力が児童についてきた。」と答える教職員80%以上。	B			
		「授業で自分の考えが言える」と答える児童80%以上。	A			
	(2)特別支援教育の充実 ①子ども理解と支援体制の充実 ②全職員による情報交換と共通理解 ③学校に出にくい児童への対応 ④外部機関(専門機関)との連携	「先生は自分をよく分かってくれている」と答える児童90%以上。				
		「学校は子どもをよく理解しようとしている」と答える保護者90%以上。				
		「子ども理解と支援体制が充実していた」と答える教職員90%以上。校内支援会議月1回開催。				
		SCや奥伊勢支援ｾﾝﾀｰとの連携。(校内研修、ケース会議の実施)				
	(3)教職員の授業力・資質向上 ①授業力向上(わかる授業)のための研修 ②研究テーマにせまる取組の充実 ③学調やみえスタの分析と授業改善 ④信頼される学校(教職員)	「授業が分かる」と答える児童90%以上。				
		「学校は分かりやすい授業に取り組んでいる」と答える保護者90%以上。				
		「研究授業や校内研修は資質向上につながった」と答える教職員90%以上。				
		「大宮小に対して満足している。」と答える保護者90%以上。				
【安全安心で豊かな心を育む学校づくり】 ～自他の命を守り、自分も他者も大切にする心を育む教育活動～	**(1)防災・安全・健康教育の推進** ①自分の命を自分で守れる児童の育成 ②教職員の危機管理意識の向上と組織力の強化 ③健康教育・食育の充実 ※コロナ感染症対策	安全教育・健康教育・食教育の計画的な実施。 ※年間計画に基づく実施やその内容				
		「自分は火災や地震の時、適切な行動が取れる」と答える児童100%。				
		「学校は子どもの安全確保対策に努めている」と答える保護者95%。				
		危機管理に関わる教職員ｱﾝｹｰﾄで肯定的な評価が100%。				
	(2)道徳性・人権意識の育成 ①いじめや差別のない安心安全な学校 ②違いや良さを認め本音が出せる仲間づくり ③教職員の人権意識の向上 ④大宮中学校区人推協の活動の推進	「学校は楽しい」と答える児童90%以上				
		「いじめは絶対に許さない」と答える児童100%。				
		「学校は仲間づくりや心の教育を大切にしている」と答える保護者90%以上。				
		道徳・人権教育の計画的な実施。 ※年間計画に基づく実施やその内容				
	(3)人とつながる力の育成 ①自己肯定感や自尊感情の育成 ②児童会や学級活動で仲間づくりを推進 ③当たり前の事を一流に『凡事一流』 ④QUの分析と活用	「自分には良い所がある」と答える児童90%				
		「学校は子どもの良いところを認める教育活動を行っている」と答える保護者90%以上				
		「人と話したり一緒に活動することは楽しい」と答える児童90%以上。				
		児童や教職員(学校全体)に『凡事一流』の精神が根付いてきたと答える教職員80%以上。				
【地域とともにある開かれた学校づくり】 ～地域や学校への愛着と誇りを育む教育活動・働きやすい職場環境～	**(1)地域学習の充実** ①学習のねらい(つけたい力)の明確化と工夫 ②郷土の特色を生かした継続性のある取組 ③人との出会いを通してその思いや願いを知る取組 ④取組の発信	ねらいを明確にして地域学習を行うことができたと答える教職員90%以上。				
		「学校は地域に根ざした活動をを大切にしている」と答える保護者90%				
		「地域学習は好き」と答える児童90%以上。				
		「この地域(ふるさと)が好き」と答える児童90%以上。				
	(2)情報発信の充実 ①各種たより、HPによる情報発信 ②授業参観や学校公開の推進 ③学校評価・関係者評価の充実と学校改善	「学校の様子はたよりやHPで知ることができる」と答える保護者90%				
		「学校は保護者や地域の声を活かした学校経営に取り組んでいる」と答える保護者90%以上。				
		学期に1回の授業参観、各種行事への参加呼びかけを積極的に行う。				
		学校評価のPDCA化(各学期でｽﾓｰﾙｽﾃｯﾌﾟの評価実施)※評価が改善に結び付く。				
	(3)教職員が働きやすい環境づくり ①校内安全衛生委員会の活用と定例化 ②時間外労働縮減、会議時間短縮、定時退校、休暇取得	時間外労働の縮減(月平均30H以内) ◆上限:月45H、年360Hを超えない。				
		休暇取得の推進(一人年間18日以上)				
		会議時間の短縮(1H以内の会議80%)				
		定時退校日の設定(毎週火曜日、達成率90%)				

A－達成　B－ある程度達成　C－未達成　○:成果　▲:課題　◆:来年度に向けて